

## 年頭のご挨拶

一般社団法人 日本看護学校協議会 会長 水方 智子

新年、明けましておめでとうございます。昨年は当協議会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、行動制限のない年末年始を迎える中、新年早々に能登半島を中心とした広範囲で大規模な地震が発生しました。被害に遭われた方に心からお見舞いを申し上げますとともに、1日も早く日常が戻ることを祈念しています。なお、当協議会では緊急支援対策として災害義援金を募集しています。学校単位または個人などでご寄付いただいたものを、被害状況に応じて分配させていただきますので、皆様のご支援をよろしく願いいたします。

昨年10月には、当協議会の初代会長(平成元年～21年)であり、名誉会長である山田里津先生が逝去されました。山田先生は、大正14年三重県に生まれ、日本赤十字社甲種救護看護婦養成所卒業後、昭和22年三重県庁教育民生部衛生課技師、東海北陸軍政部(GHQ)、昭和38年厚生省医務局看護課看護婦係長、昭和47年三井記念病院高等看護学院長を就任され、その後、東京大学医学部講師、二葉看護学院・一葉福祉学院長を経て、一般社団法人日本看護学校協議会名誉会長、一般社団法人日本看護学校協議会共済会最高顧問などを歴任されました。戦後一貫して看護教育の発展に努め、平成27年には世界の看護師最高の栄誉である「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受賞されたことは、私達にとっても名誉なことでした。生前のご尽力に感謝するとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

令和5年度は、看護教員の働き方改革のひとつとして「DX推進」の研修会に取り組んできました。授業でICTを活用するだけでなく、学生の出席や成績管理・課題のやりとりなど、多忙な看護学校業務全体をDX化することで、本来なすべき学生対応に専念するとともに、災害時にも対応できる環境を整えようというものです。加えて、令和5年度「看護師等養成所の管理・運営等に関する実態調査」、令和5・6年度

地域医療基盤開発推進研究事業「看護教員の継続教育に対するニーズ把握のための研究」での「看護学校(組織)での看護教員の育成や成長の支援に関するアンケート」、令和5年度看護職員確保対策特別事業「看護師等養成所におけるDX促進に向けた実態調査」等、多くの調査に御協力いただいたことに心から感謝申し上げます。この結果を皆様に還元すべく、冊子として配付とともに研修会などでの報告や、厚生労働省への要望に活用する予定です。

令和6年は「甲辰(きのえたつ)」にあたる年です。「甲」は十二支の第1位であり、優勢であることを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表し、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである甲辰は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しています。年始に起こった災害を教訓にしつつ、先行きが不透明で将来の予測が出来ない困難な状態であるVUCA (V: volatility 変動性/U: Uncertainly 不確実性/C: Complexity 複雑性/A: Ambiguity 曖昧性)の時代に対応すべく、看護や教育の本質は大切にしつつ、変わりゆくものには柔軟に対応する中で、看護基礎教育を充実させる形で成長し姿を整えていく年にしたいと思っています。

第36回の学会は、8/1(木)・2(金)に愛知県名古屋市で開催します。学会での皆様の教育成果のご発表及びご参加、「私の学校自慢」へのご応募も心からお待ちしています。

令和6年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって幸多い年になりますよう祈念しています。

